

2017年
1月号

通巻 44 号

地域だより みんなのなかじま

発行;中島自治会 会長;数田久雄(電話 85 - 5174) 防災訓練

回 覧

中島地区のちょっとした出来事、行事、活動をお知らせします。皆さんの暮らしの写真撮らせてくださいネ!

防災に関するイベントが続く 10、11月

中島地区の防災訓練は毎年11月の最終日曜日です。2016年は11月27日でした。実施内容は防災リーダー、消防分団、中島自主防災会委員が事前に協議して決めています。しかし、地域の一人ひとりが命を長らえることを考えると一日だけの訓練で良いのでしょうか。

**自宅家具の転倒防止、防災グッズ、食料の3日~7日の備蓄
日頃からみなさんの防災への関心を高めて下さい!**



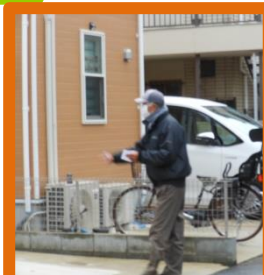
●10月2日・中島中学校

湘南地区防災訓練があり、避難所開設、情報伝達訓練が市役所と湘南地区まちぢから協議会の合同で行われた

被災した状況把握と
的確な情報の報告
あつての救助あり



- 防災訓練関係の会合は3回
- 11月5日の津波訓練を経て
**11月27日が来た
雨の朝、でも準備は完璧!**



●安否確認の「黄色い布」…表通りから見える位置に掲げて

組長さんは「黄色い布」が確認できなかった家庭を
自主防災本部に報告

もしもの時、早い救助に結びつく

・自主避難の届け出は日枝神社境内(自主防災本部テントで受け付け)

- 一般参加・110名
- 消防分団・5名 ■婦人会・11名
- 評議員・防災リーダー・19名

合計145名。



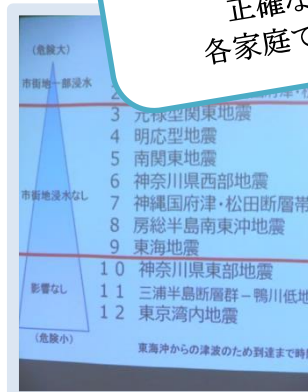
●11月27日地域防災訓練

①講話…茅ヶ崎市防災対策課職員によって、 中島地区の特徴をとらえた防災



・誰にも分かりやすい事実を積み重ねた話し
過去の津波被害を調べると、最大の
津波の来襲でも一部浸水だった…。
地震で下敷きになる可能性が大だった

中島地区はどんな災害が一番怖い？
火災？地震？津波？
家具や家屋の下敷きになったら？
正確な情報を知って
各家庭で防災対策を考えよう



②倒壊家屋からの救出・搬送訓練

・参加者を二分して実施。



地域の人たちが、地域の資材を活用した救出訓練
女性や子ども、シニアの方も助ける側になる気概を持って…
実際にやってみる体験は達成感がありやる気もアップ



・消防団員と
念入りな打ち合わせ

③防災備品の展示と斡旋

- 泡を使わないで後片付けが簡単な消火器
- 通電火災を防ぐ感震ブレーカー
- 備蓄食の見本、但し食品は普段から消費期限の長い品を多めにストック（ローリングストック）すると経済的



④給食（炊き出し）訓練

・最後は非常食代わりに
大鍋で作ったカレーを食べた



推奨のえぼし麻呂消火器

前回回覧で購入申込みを受付け中（お酢をベースに食品添加物成分から作られた中性薬剤使用）